

アクションにつなげる海ごみ講座開催 および、次世代の海ごみ先生の育成

活動地域  香川県



海ごみガイドの育成（模擬講座を実施）

課題

海ごみ教材のデータが古く活用しやすい教材がない。また、海洋ごみ問題を伝える人材育成が不足している。

目標

本事業で作成した教材を利用した学習を通して、瀬戸内海や四国に暮らす人々が海ごみ問題に興味をもち、自分たちの暮らしを見直すことにより海ごみの発生抑制につながる。



今後の展望

教材作成、講座内容の確立、人材育成、Webページを整えることができたので、今まで以上にスムーズに講座等の実施ができると考えている。また、講座のニーズが多くあり、活動しやすいタイミングとなっている。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 海ごみ講座の確立では、対象（小中学生、高校生、大学生、団体、企業）にあわせた八つのパターンを作成
模擬講座実施回数：体験型2回、屋外出前講座1回
- 先進活動を学ぶ研修
実施回数：2回（参加者75人）
- 海ごみガイドスキルアップ研修会を実施
6人が講師を担当し、海ごみガイドが聞き役となり、講座内容のブラッシュアップを行った
実施回数：3回（6講座）、参加者延べ37人
- 海ごみガイド連絡会として、海ごみガイド同士で連絡が取り合えるグループを作成。現在、24人が登録している



専門家を交えた講座内容の検討と教材づくり

海ごみガイドの人数、
連絡会登録数 **24人**

海ごみガイド育成研修 **5回**

今年度計画の達成度 **95%**

全体計画の達成度 **95%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

専門家や学識経験者、海ごみリーダー等の意見を聞き、その内容を踏まえて教材作成や講座内容の確立を進めたため時間を要した。

■工夫した点

新型コロナウイルス禍でもあり、関係者とのやり取りや模擬講座の実施ではメッセージンググループやオンラインツールを活用して活動を進めた。

〒760-0062

香川県高松市塩上町1-2-7

電話：087-848-9085

E-mail：scf@archipelago.or.jp

HP：<http://www.archipelago.or.jp/scf/>

<http://www.archipelago.or.jp/>

